

## 2018 年度 健康スポーツ科学科教員研究活動実績

### 【著書】

#### ①学術図書

尹 熙喆 (2019) カント道徳哲学とスポーツ倫理. ニホン美術: 岐阜.

#### ②一般図書

白石 豊, 室屋義秀 (2018) 世界一のメンタル. アチーブメント出版: 東京.

### 【論文】

- 1) E. Fujita, K. Yakushi, M. Takeda, MM. Islam, M. Nakagaichi, DR. Taaffe, N. Takeshima (2018) Proficiency in pole handling during Nordic walking influences exercise effectiveness in middle-aged and older adults. Plos One, 13 (11): e0208070. <https://doi.org/10.1371/journal.pone.0208070> (査読付)
- 2) 梶山俊仁, 佐々木 康, 寺田泰人, 山本 巧, 吉田浩二, 高津浩彰, 武石健哉, 小泉和也, 中本光彦, 大塚道太, 小柳竜太 (2019) 2017 年度ワールドラグビー試験的ルールの検証ー 2016 年度及び 2017 年度の海外, 国内のゲームにおけるスクラムに着目してー. ラグビー科学研究, 30 (1). (印刷中)
- 3) M. Kusunoki, T. Kohama, Y. Yamada, E. Fujita, S. Okada, A. Maeda, N. Takeshima (2018) Evaluating activities of daily living using an infrared depth sensor: KINECT. Disab Rehabil: Assist Technol, <https://doi.org/10.1080/17483107.2018.1449020> (査読付)
- 4) N. Takeshima, T. Kohama, M. Kusunoki, E. Fujita, S. Okada, MM. Islam, and WF. Brechue (2018) . Development of simple, objective chair-standing ADL assessment in older individuals using a Kinect sensor. J Frailty Aging (in press) (査読付)
- 5) 大塚道太, 森木吾郎, 房野真也, 菅 輝, 梶山俊仁, 塩川満久, 出口達也, 黒川隆志 (2018) DLT 法を用いたブロック大会レベルの 7 人制ラグビーゲーム中の運動強度. コーチング学研究, 32 (1), 99-111. (査読付)
- 6) Sugiura M, Ebara T, Yamada Y, Shoji N, Matsuki T, Kano H, Kurihara T, Omori O, Tomizawa M, Miyata M, Kamijima M, Saitoh S, The Japan Environment Children's Study (JECS) Group (2018) Adverse pregnancy and perinatal outcome in patients with recurrent pregnancy loss: Multiple imputation analyses with propensity score adjustment applied to a large-scale birth cohort of the Japan Environment and Children's Study. Am J Reprod Immunol, <https://doi.org/10.1111/aji.13072> (査読付)
- 7) 竹島伸生 (2018) 地域型運動 (community-based exercise:CBE) による自立支援. 介護予防健康づくり, 5 (1), 4-9.
- 8) 白石 豊 (2018) ヨーガ療法とスポーツメンタルトレーニング. 日本ヨーガ療法学会, 45-58.
- 9) 白石 豊 (2018) 日本の将来を語る ～眼からウロコが落ちるとき～. 日本教育 1 月号, 12-13.
- 10) 庄司直人, 山岸庸太, 高鷹 達, 榎原 毅 (2018) 超急性期災害医療対応を想定した組織レジリエンス・トレーニング「宝さがし」のトライアル. 人間工学, 54 (6), 219-225. (査読付)

### 【学会発表】

- 1) 安達詩穂, 八木ありさ (2018 年 8 月 24 日) ダンスジャンルおよび定型・非定型の類別における「身につく力」の意識. 日本体育学会第 69 回大会. 徳島大学.
- 2) 石田直章, 菅嶋康浩 (2018 年 9 月) 運動生理学で Para Powerlifting の競技力を支える. 第 4 回日本健康レクリエーション学会大会. 愛知学院大学.
- 3) 梶山俊仁, 小柳竜太, 大塚道太, 武石健哉, 吉田浩二, 庄司直人, 高橋篤史, 黒川隆志, 山本 巧 (2018

年 8 月 24 日) ワールドラグビー試験的ルールの検証ー 2016 年度及び 2017 年度の Six Nations におけるスクラムに着目してー. 第 69 回日本体育学会. 徳島大学.

- 4) 禿 隆一, 禿 正信, 田中 瑛, 新宅幸憲 (2018 年 8 月 25 日) バスケットボールフリースロー時の重心動揺について. 日本体育学会第 69 回大会. 徳島大学常三島キャンパス.
- 5) Kato T, Sugajima Y, Taichun (2018) Middle-aged postmenopausal women have different response on BMC between proximal femur and distal radius. Asian Conference on Kinesiology. Taiwan.
- 6) 加藤 尊, 山下剛範, 杉野香江, 若杉悠佑, 近藤妃畝, 寺島 徹 (2018) スイミングスクールに通う閉経後中高年女性の部位別骨塩量変化ー大腿骨近位端部と橈骨遠位部に着目してー. 日本体力医学会 (福井).
- 7) 松田文子, 榎原 毅, 池上 徹, 石井まこと, 余村朋樹, 庄司直人, 湯浅晶子, 酒井一博 (2018) 労働災害の発生動向と経済情勢指標の関連性に関する研究. 日本人間工学会. 宮城.
- 8) 水野基樹, 山田泰行, 芳地泰幸, 岩浅 巧, 富樫恵美子, 岡田 綾, 會田秀子, 庄司直人, 水野有希 (2018) 看護組織のコミュニケーションに関する研究成果の共有に向けた取り組み: ーフィードバックシートを用いた成果報告会の事例報告ー. 日本人間工学会. 宮城.
- 9) 大塚道太, 森木吾郎, 房野真也, 伊藤数馬, 梶山俊仁, 山本英弘 (2018 年 8 月 24 日) ゴール型球技におけるコートの広さの違いが運動内容に与える影響ーサッカーゲーム中のパス頻度に着目してー. 第 69 回日本体育学会. 徳島大学.
- 10) 庄司直人, 井上元輝, 小野圭久, 梶山俊仁 (2018 年 8 月 24 日) チームビルディングトレーニングによる UpwardInfluence への効果の検証. 第 69 回日本体育学会. 徳島大学.
- 11) 菅嶋康浩, 石田直章, 加藤 尊, 本田亜紀子, 高橋篤史, 山本英弘 (2018) パラパワーリフティング選手のベンチプレス動作の基礎的研究. トレーニング科学研究会. 三好 (東海学園大学).
- 12) Sugajima Y, Koeda M, Kato T, Terashima T, Honda A, Takahashi A, Yamamoto H (2018年7月) Characteristics of Operation in Sequential Turns with Different Depths on Alpine Sit-Skis. The 15st International Symposium of the Asian Society for Adapted Physical Education and Exercise. University of Malaya, Kuala Lumpur. Malaysia.
- 13) 杉野香江, 若杉悠佑, 山下剛範, 寺島 徹, 加藤 尊 (2018) 中高年女性のロコモティブシンドロームの現状と身体組成および身体機能の関連について. 日本栄養改善学会. 新潟.
- 14) 竹島伸生, 小濱 剛, 楠 正暢, 岡田壮市, 藤田英二 (2018 年 11 月 17 日~ 18 日) キネクトを用いた虚弱高齢者に対する自立評価指標作成の試み~ 20 秒間のマーチテスト~. 第 6 回日本介護福祉・健康づくり学会大会. 早稲田大学.
- 15) 富樫恵美子, 山田泰行, 芳地泰幸, 高橋季子, 岩浅 巧, 岡田 綾, 庄司直人, 水野有希, 水野基樹 (2018) 大学病院における看護師のアサーションとストレスの検討. 日本人間工学会. 宮城.
- 16) 山田泰行, 水野基樹, 芳地泰幸, 富樫恵美子, 岩浅 巧, 高橋秀子, 岡田 綾, 會田秀子, 水野有希, 庄司直人 (2018) コミュニケーションが苦手な看護師の行動特性とは?: ー行動センサが記録した対話情報の分析ー. 日本人間工学会. 宮城.

## 【研究報告・資料】

- 1) 禿 隆一, 土田 洋, 井上元輝, 安達詩穂, 本田亜紀子 (2018) スポーツ系学科の大学生における身体的・体力的特徴について~第 2 報 2018 年度調査について~. 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要, 2, 1-7.
- 2) 菅嶋康浩, 石田直章, 加藤 尊, 本田亜紀子, 高橋篤史, 山本英弘: パラパワーリフティング選手のベンチプレス動作の安定性に関する研究. 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要 2, 8-12.
- 3) 土田 洋 (2018) 自転車安全教育に関する教科書分析. 朝日大学教職課程センター研究報告, 26,

31-46.

- 4) 土田 洋 (2018) 大学生のスポーツ傷害および事故の現状, 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要, 2, 13-17.
- 5) 山根 基, 加藤 尊, 大西範和 (2018) 習慣的に行う運動後アイシングの有効な冷却温度帯に関する研究. デサントスポーツ科学, 39, 94-102.
- 6) 尹 熙喆, 菅嶋康浩, 加藤 尊 (2019) 健康概念における一考察. 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要, 2, 18-20.

## 【その他】

### ①大会・学会報告

- 1) 加藤 尊 (2019) 第9回 Asia Conference on Kinesiology 2018 に参加して. 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要 2, 21-23.
- 2) 菅嶋康浩 (2019) The 15th Asian Society for Adapted Physical Education and Exercise in Malaysia に参加して. 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要 2, 24-26.
- 3) 土田 洋 (2018) 第5回日本介護福祉・健康づくり学会大会を振り返って. 介護予防・健康づくり, 5(1), 56-58.

### ②コラム

- 1) 安達詩穂 (2018) ダンス“ならでは”の価値を知りたくて. 舞踊学会ニューズレター第15号, 15.
- 2) 林 勇樹, 高橋篤史, 植松 梓 (2018) 科学委員会事業報告 レース分析第4弾 Vol.2 現場に届け! レース分析データ!. 月刊水泳, vol.509, 24-27.
- 3) 高橋篤史, 松井 健 (2018) 科学委員会事業報告 レース分析第4弾 Vol. 1 レース分析を中心とした競泳競技における2018年度の科学サポートについて. 月刊水泳, vol.508, 40-41.
- 4) 高橋篤史, 松井 健 (2019) 科学委員会事業報告 レース分析第4弾 Vol. 4 Pan Pacific Swimming Championships 2018における外国選手の特徴②ハイパフォーマンスを見せた、S.Pedro と C.Cate のリレーと個人種目との比較. 月刊水泳, vol.511, 35-37.